

Palnote 連絡用紙

商品に関することやご意見・ご要望などをこの用紙でお寄せください！
(太枠内のご記入をお願いします)

所属センター				組合員番号 ※必須(番号の記入間違いにご注意ください)							
☐ 柏	☐ 印西	☐ 松戸	☐ 習志野								
☐ 千葉	☐ 東金	☐ 野田	☐ 稲毛(キューブ館山含む)								
コース	用紙提出日	年	月	日	回答	要	・	不要			
記入欄											
こちらからもお問い合わせできます											
商品についてのご連絡は、以下もご記入ください。											
配達日 カタログ企画回	年 月 日 (月 回)				(パルシステム記入欄)						
商品名 青果は産地名も					受付	リーダー/担当	電算	責任者			
商品分類	青果 / 冷蔵 / 冷凍 / 常温 / 雑貨 / その他 ()										
注文番号	単価(税込)		数量								

パルグリーンファーム
PalGreen Farm 通信

パルシステム千葉、初の直営農場
若い生産者が試行錯誤の毎日です。

2025年10月号
(文：椎名農場長)

◆ 早まる日没に秋の気配 圃場も秋バージョンへと転換中 ◆

10月初旬、日中の気温はようやく落ち着いてきたものの、本格的な秋はなかなかやってきません。暦の上では秋ですが、秋の虫の声も聞こえず、秋の長雨もそれ程でもないように感じます。全国を見渡しても降るときは警報レベルの大雨で、しかも竜巻や突風が付いてくることが多く、これでは恵みの雨を願うのも恐くなってしまいます。近年は異常気象ばかりに目が行きがちですが、逆に変わらないことは何だろう？と考えると、それは日の出と日の入りの時刻でしょうか。9月中旬ごろまでは明るい時間に帰宅できていたのが、まさに秋の日はつるべ落とし。日が傾くとあっという間に暗くなって作業できる時間が減る一方、夏野菜の片付けや、草の生えた畑の整備が終わるまではまだまだ忙しく、もう少し照らしてほしいと願うことも…。それでも暦通りに照らしてくれるお天道様には感謝感謝です。

秋に入り体感的に気候も落ち着いてくる中、葉物野菜はぐんぐん伸び始めます。人と植物は別の生き物なのに、何だか親近感が湧いてきます。困ったことに虫たちまで元気になるため厄介事は増えるのですが、やはり野菜たちが健やかに育ってくれる実りの秋は、心にも余裕が生まれるような気がします。 **PGF 通信バックナンバーやレシピ、お問い合わせはこちら▶**

【今後の供給予定(テープの色)】
小松菜(緑)、チンゲン菜(赤)、みず菜(黄)、ルッコラ(黒)、ほうれん草(青)、里芋、さつまいも、なす、ピーマン、グリーンリーフレタス、人参

元気に育つ葉物野菜

青々とした小松菜

困ったことに虫食い被害も

なんて贅沢な
鹿兒島の田舎出身です。給食の時間になると「今日の野菜は〇年〇組〇〇ちゃんのお父さんとお母さんが育てた野菜です」と放送が。地域で育てた安全な野菜を当たり前に食べられていたことに感謝します。
(コザルママさん/市川市)

きなこ揚げパン
教室の壁に張ってある献立表を毎日読み上げてくれる男子がいて、きなこ味の揚げパンが発表されると歓声が上がりました。懐かしい思い出です♪
(ホタテさん/市川市)

先割れスプーン
今思うとみんな器用に食べていたなあと。“箸が使えない問題”になったようですが、道具を使う工夫をそれぞれがしていたのかも？
(こんせんくんさん/市川市)

牛乳のふたで“めんこ”遊び
小学生のとき『牛めん』が流行りました。びんの牛乳に時代を感じます。
(すあまさん/船橋市)

白衣の思い出
給食といえば給食当番。よく配膳時に着る白衣を忘れて先生に怒られた記憶があります。
(せんきゅさん/習志野市)

みんなの
おしゃべりCafe

minna no osyaberi cafe

「そうだよな! わかる」と思わず共感しちゃうことから「へへ、知らなかった!」という楽しい発見もいっぱい!!

今号のテーマ 「給食・学食」

イラスト 広報サポーター あずきさん

募集中のテーマ

「教科書にまつわる話」
学校、習い事、資格試験から人生を導く座右の書まで、教科書にまつわる思い出やエピソードをお寄せください。
掲載者には300ポイントプレゼント!
▼応募はこちらから! [0/00(0)件] 投稿をお待ちしています!

「おかわりジャンケン」
食わず嫌いが多かった息子は、給食のおかげで今ではおかわりジャンケンするまでに。中3なので寂しい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。栄養士さん、調理員さん、給食を支えてくださるすべての皆さま、ありがとうございます!
(S.T.さん/木更津市)

牛乳が飲めなくて
小さなコップに毎日少しずつ増やして、残りはお友だちが飲んでくれました。何日かして全部飲めるようになったとき、クラス全員から拍手…いまだに忘れられないです。
(まーゆみさん/我孫子市)

イマドキの給食
子どもたちの通う小中学校では、例えばサッカーのワールドカップが始まると相手国の郷土料理が給食メニューになっていて、粋だなあと思いました。親の私もへえ〜と楽しみが増えました。
(キムキムさん/鎌ヶ谷市)